

『PCA 固定資産DX』

Ver.1.0 Rev.4.00 プログラムでの主な機能強化・仕様変更点

KDH200511

主な機能強化・仕様変更点は以下の通りです。
操作等の詳細については、オンラインヘルプ、またはPDFマニュアルをご覧ください。

《全体》

◇サブスクリプション対応

- ・サブスクリプション契約によってPCA製品を利用できるよう対応しました。
- ・サブスクリプション製品、およびクラウド製品は、セットアップを一本化し、契約したライセンスに応じて切り替えられるよう対応しました。

◇高DPI対応

高解像度モニタ(4K モニタなど)使用時の文字サイズの拡大表示に対応しました。

◇システムツール

「利用状況ログの収集許諾」機能を追加しました。

《新機能》

◇通知機能

「通知設定」「通知一覧」処理を追加しました。資産の入れ替え管理や、リース資産の契約・支払終了日の管理などにお使いいただけます。

《前準備》

◇取引先の登録

取引先コードで入力できる文字を半角英数(スペース不可)から半角(スペース、*不可)に変更しました。

《資産》

◇資産の登録

個別入力画面から分割を実行できるようになりました。

互換性に関する変更点

◇データ領域の更新について

下記のデータを追加したため、データ領域のバージョンを「4.00」に更新しました。

- ・お知らせデータ
- ・お知らせ設定
- ・お知らせ設定対象者
- ・お知らせデータ資産

hyperシリーズとDXシリーズでデータ領域が共通化されたことに伴い、DXシリーズの以下のデータ構造が変更されました。

- ・台帳初期パターン
- ・補助(会計連動用)
- ・資産(配賦ヘッダ)
- ・資産(月次償却額)
- ・資産(月次再リース)
- ・会計連動設定
- ・取引先(会計連動用)
- ・資産(固定)
- ・資産(月次リース)
- ・資産(異動履歴)

また、下記のデータを追加しました。("hyperシリーズ"の場合のみ使用可能です。)

- ・企業グループ構成情報キャッシュ
- ・セグメント1コード設定(会計連動用)
- ・セグメント3コード設定(会計連動用)
- ・セグメント1(会計連動用)
- ・セグメント3(会計連動用)
- ・セグメント1
- ・セグメント3
- ・資産(棚卸)
- ・棚卸目的
- ・セグメント2コード設定(会計連動用)
- ・取引先コード設定(会計連動用)
- ・セグメント2(会計連動用)
- ・セグメント設定(会計連動用)
- ・セグメント2
- ・セグメント設定
- ・資産(管理)

◇APIの変更について

APIで操作できるデータに、以下を追加しました。

- ・会計連動設定(バージョン「1」)
- ・仕訳伝票データ(バージョン「1」)

hyperシリーズとDXシリーズのAPI共通化に伴い、DXシリーズのバージョンを以下の通り更新しました。

- ・会社基本情報(バージョン「102」)
- ・税区分マスター(バージョン「101」)
- ・資産(バージョン「104」)
- ・集計区分マスター(バージョン「101」)
- ・領域ユーザーマスター(バージョン「101」)

◇汎用データの変更について

hyperシリーズとDXシリーズの汎用データ共通化に伴い、DXシリーズのバージョンを以下の通り更新しました。

- ・会社基本情報(バージョン「8」)
- ・一般資産(バージョン「8」)
- ・リース資産(バージョン「8」)
- ・一般資産(異動履歴)(バージョン「4」)
- ・リース資産(異動履歴)(バージョン「4」)
- ・一般資産(配賦情報)(バージョン「4」)
- ・リース資産(配賦情報)(バージョン「4」)
- ・集計区分(バージョン「3」)
- ・一括償却資産(バージョン「4」)
- ・少額資産(バージョン「6」)
- ・一括償却資産(異動履歴)(バージョン「4」)
- ・少額資産(異動履歴)(バージョン「3」)
- ・一括償却資産(配賦情報)(バージョン「4」)